学校番号	1206

令和８年度　芸術科

教科	芸術科	科目	自己表現(音楽編) I	単位数	2 単位	年次	2 年次
使用教科書	ON!2(音楽之友社出版)						
副教材等	New Music Note(教育芸術社)						

1　担当者からのメッセージ(学習方法等)

歌唱・器楽・創作・鑑賞の 4 つの分野について年間を通して学習します。
自己のイメージや感情を表現したり，音楽を深く味わって聴いたりするためには，曲想と音楽の構造との関わりについて理解することが必要です。
音楽を形づくっている要素を知覚したり，感受したりしながら，それらの関わりについて考えることで，表現パレットが増え，音楽を深く享受することができるようになります。
授業を通して，一緒に音楽表現や作品解釈の可能性を追求していきましょう。
学習の到達度は，ワークシートの提出，筆記試験，実技試験により評価します。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに，創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
【思考力，判断力，表現力等】
自己のイメージをもって音楽表現を工夫することや，音楽の評価をしながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。
【学びに向かう力，人間性等】
主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み，生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに，感性を高め，音楽文化に親しみ，音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。【知識】 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け，歌唱，器楽，創作で表している。【技能】	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し，それらの働きを感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考え，どのように表すかについて表現意図をもったり，音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて，学習のまとまりごとに評価し，学年末に 5 段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し，評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	歌おう	【歌唱】 ・上を向いて歩こう ・やさしさに包まれたなら ・歌の翼に ・ハナミズキ	a:【知】様々な表現形態による歌唱表現の特徴について理解している。 【技】姿勢や呼吸など身体の使い方の技能や楽譜に書かれた情報を把握し言葉のリズムや抑揚を生かして歌唱する技能を身に付けている。 b:親しみやすい歌のリズム、旋律を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもってどのように歌うかについて表現意図をもっている。 c:歌う喜びを味わい、イメージをもって主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 実技テスト	実技テスト 提出ノート	実技テスト 提出ノート 観察
	日本の音楽に親しみをもとう	【鑑賞】 ・三味線「勧進帳」 ・三味線による J-POP	a:【知】音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解している。 b:曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 c:三味線に関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート	ワークシート	ワークシート 観察

	【器楽】 箏 ・大きな古時計 ・海の声	a:【知】曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。 【技】曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付けている。 b: 箏の音色や旋律を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって器楽表現を創意工夫している。 c:主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	実技 テスト 観察	実技 テスト 提出 ノート	実技 テスト 観察
リズムについて知ろう	【器楽】 アンサンブル ・On The Beat！ ・島人ぬ宝 ・笑点のテーマ	a:【知】様々な表現形態による器楽表現の特徴について理解している。 【技】表現形態の特徴を生かして演奏する技能を身に付けている。 b: リズムや強弱を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって器楽表現を創意工夫している。 c:粘り強く取り組み、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	実技 テスト 観察	実技 テスト 提出 ノート	実技 テスト 観察
	【創作】 ・歌をつくろう	a:【知】音素材や音型などの特徴及び構成上の特徴について理解している。 【技】反復、変化、対照などの手法を活用して音楽をつくる技能を身に付けている。 b: 創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって創作表現を創意工夫する。 c:創作の学習に粘り強く取り組み、主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。	発表 ワーク シート	発表	発表 ワーク シート 観察

後期	世界の音楽について知ろう	【歌唱】 ・O mio babbino caro ・Die Forelle ・歌の翼に	A：（知）曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景とのかかわりについて理解している。 【技】表現形態の特徴を生かして歌う技能を身に付けている。 b:音色や旋律を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫している。 c: 曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりに関心を持ち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 実技テスト	実技テスト 提出ノート	実技テスト 提出ノート 観察
		【鑑賞】 ・アジアの様々な音楽と日本音楽の流れ ・世界の声の音楽、楽器の音楽 ・交響曲第9番「合唱付き」 ・オペラ「カルメン」	a:【知】我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴について理解している。 b:音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 c:世界の音楽に関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート	ワークシート	ワークシート 観察
	ギターを演奏しよう	【器楽】 ギター ・河は呼んでいる ・海の見える街	a:【知】曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解している。 【技】他者との調和を意識して演奏する技能を身に付けている。 b:音色やテクスチュアを知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって器楽表現を創意工夫している。 c:ギターに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	発表 観察	発表 提出ノート	発表 観察

	ミュージカルについて知ろう	【鑑賞】 ミュージカル ・オペラ座の怪人	a:【知】曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解している。 b: 自分や社会にとっての音楽の意味や価値について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 c: 主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート	ワークシート	ワークシート 観察
	ミュージカル曲を歌おう	【歌唱】 2重唱 ・オペラ座の怪人	a:【知】言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。 【技】他者との調和を意識して歌う技能を身に付けている。 b:旋律や形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫している。 c: 他者との調和に関心を持ち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 実技テスト	実技テスト 提出 ノート	実技テスト 提出ノート 観察

※表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度